

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 718

政策体系	13	事業分類	ソフト事業	所管部局	教育委員会 社会教育課
会計	一般会計	科目	10. 教育費 - 5. 社会教 - 3. 図書館 現年		
事業名	講座開設事業				
細事業名	講座開設事業				
評価表作成者				教育委員会 社会教育課	大西 敏之

1. 事業の概要

生涯学習の大きな柱の一つである読書活動の推進に向け、著名な作家を小中学校に招聘し、子どもと直接交流することを通して読書意欲の向上を計るオーサー・ビジット事業を中心に、お話し会・講演会・研修会・工作会など、様々なアプローチで読書活動の推進を図る。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

市民の生涯学習の振興及び「子どもの読書活動推進に関する法律」を鑑み、読活動の推進や、家庭の教育力向上に寄与することを目的に実施している。

②事業を実施する必要性

0歳から高齢者までを対象に、図書館法に定められた「国民の教育と文化の発展に寄与すること」を目的に、さまざまな切り口で読書活動の推進を図るための方策として必要不可欠なものとして実施している。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	309	196	123	434	390	79	79
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	309	196	123	434	390	79
職員等の従事人員	人/年	—	1.21	4.35	5.02			
人件費	千円	—	5,361	9,436	13,894			
事業費総額	千円	—	5,557	9,559	14,327			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

講座講師謝礼	382,000円
講座消耗品	51,600円

5. 事業結果の概要

- ・オーサー・ビジット事業
 長谷川義史氏—富本・西本梅・鶴ヶ岡小学校・八木中学校 4校
 角谷 敏夫氏—美山中学校
- ・「おはなし会」の実施(各館・室) 延べ約100回
- ・図書館職員の出前講座 延べ22回
- ・「お父さんたちのお話し会」の実施 (9/5)

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

参加者が、その成果を地域や家庭で役立てることにより、文化と教育力の向上につながるような図書講座の実施。
パソコンやゲームが氾濫する時代に、読書による想像力の醸成や、読み聞かせによる親子の絆を深めることなど「本のちから」を講座により市民に広めることができた。
読書に関わっていない世代や市民へのアプローチを検討する必要がある。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

参加者が、その成果を地域や家庭で役立てることにより、文化と教育力の向上につながるような図書講座の実施。
パソコンやゲームが氾濫する時代に、読書による想像力の醸成や、読み聞かせによる親子の絆を深めることなど「本のちから」を講座により市民に広めることができた。
読書に関わっていない世代や市民へのアプローチを検討する必要がある。

■平成21年度の所属長評価

①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
参加者が、その成果を地域や家庭で役立てることにより、文化と教育力の向上につながるような図書講座の実施。
②当該事業のアピール事項
パソコンやゲームが氾濫する時代に、読書による想像力の醸成や、読み聞かせによる親子の絆を深めることなど「本のちから」を講座により市民に広める。
③反省点、今後の展開・方向性等
読書に関わっていない世代や市民へのアプローチを検討する必要がある。